

2 読書グループの育成

(1) 第12回読書感想発表会

① 目的

県内には700余の読書グループが存在しているが、これらのグループでは年々発行されるおびただしい出版物のなかからどのようにして選び、読み、味わっているだろうか。読書グループはどのように運営されているだろうか。たいへん興味ある問題であり、またたいへん大切な問題であると思われる。

そこで、日頃読書の世話をしている図書館や公民館の職員と、読者が一堂に会して、読後感を話しあい、あるいは、読書会についての情報交換等を行なって、読書運動を更におし進めたい。

② 主催

1 地方発表会 地方に一任

2 県大会

福島県立図書館

福島県公共図書館協会

福島県読書推進運動協議会

福島県公民館連絡協議会

3 後援

地方発表会、県大会ともに開催地の社会教育関係団体、福島民報社及びラジオ福島

4 発表会の場所と日時

地方発表会

地区名	場所	期日
須賀川地区	須賀川市図書館	1月26日
会津若松地区	会津若松市公民館	1月26日
相馬地区	相馬市公民館	1月26日
郡山地区	郡山市図書館	2月2日
平地区	平市平公民館	2月2日
県北地区	福島県立図書館	2月2日

県大会

昭和39年2月16日(日)

原町市信用金庫ホール

5 発表の種類

第1部 読後感について(読んだ感想、読み方の工夫など)

第2部 読書会の運営について(読書グループの運営について)

第3部 家庭における読書について(家庭における読書の工夫、母と子の20分間読書など)

6 表発の時間

第1部 10分以内(字数は2,800字以内)

第2部 15分以内(字数は4,200字以内)

第3部 10分以内(字数は2,800字以内)

7 助言者

会津若松市立会津図書館長 大村武一

須賀川市図書館協議会委員 伊藤清明

郡山市図書館奉仕係長 水 芳枝

原町市公民館長 宝玉義信

8 発表者

地区	題名	所属団体名	氏名	職業	年令
第1部					
会津	「ノンちゃん雲に乗る」を読んで	若幼読書クラブ	堀 金 金子	公務員	25
須賀川	「橋のない川」を読んで		伊 藤 ツネ子	銀行員	22
郡山	「愛の終りの時」を読んで		杉 山 久 子	主婦	
福島	「メンコのうた」を読んで	下郷読書グループ	南 よし子	農業	32
石城	「草枕」を読んで	桜グループ	大河原 ミヨ	主婦	27
相馬	「光る海」を読んで	大甕読書会	斎 藤 コウ	商業	50
第2部					
会津	私達の読書会	棕櫚の実読書会	宮 部 美枝子	主婦	41
須賀川	若竹読書会の運営	若竹読書会	佐 藤 友 幸	公社員	20
郡山	すみれ読書会の現状と今後の問題	すみれ読書会	鈴 木 ス ミ	主婦	
相馬	読書会の運営について	大甕読書会	室 原 マサ子	農業	29
石城	サークルの足跡を省りみて	桜グループ	矢 部 登志恵	会社員	
田島	読書グループの運営について	下郷町青年会	佐 藤 清 松	公務員	22
第3部					
会津	幼児の読書としつけについて	若幼読書クラブ	佐 藤 恒 子	主婦	31
須賀川	家庭における読書		佐 藤 静 江	主婦	40
相馬	家庭における読書について	大甕読書会	鶴 蒔 ミツ代	農業	49